

稲作

ほ場間差大きい穂肥、防除適期見逃すな

登熟期の天候を見据えた稲体づくりを

生育概況

6月25日現在、草丈は41.2cm、茎数は372本/m²、葉色は45.4、葉数は8.7葉となつています。本年は、春先の日照不足と多雨により地温上昇が妨げられた影響で、初期生育は緩慢に始まりました。6月中旬から気温が上昇してきたことで、生育は平年並みまで回復途中となつています。ただし、田植え時期と品種によつて、生育差が大きくなつています。ほ場ごとに稲体を観察して栽培管理をお願いします。

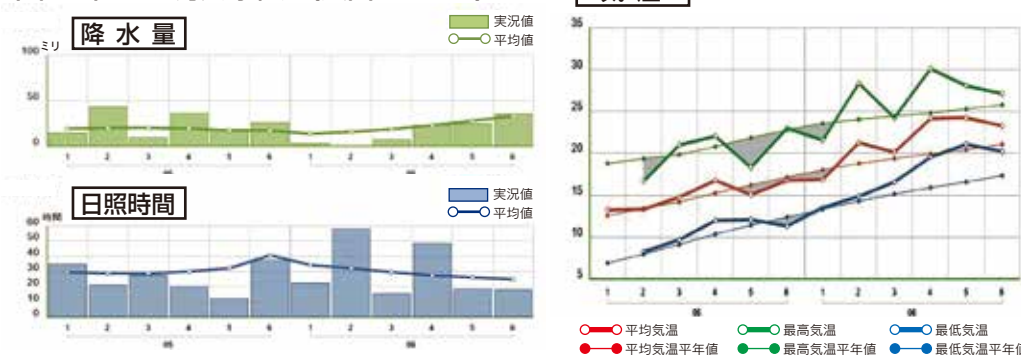
今夏も気温が高いと予報されています。生育ステージの前進や病害虫・雑草の防除適期の変動などが予想されますので、適期を見逃さないようにします。

あきたこまち定点調査結果(6/25)

仙北地域振興局農業振興普及課数値
あきたこまち10地点の平均

	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	SPAD値	葉数(葉)
本年値	41.2	372	45.4	8.7葉
平年比	117%	91%	103%	+0.1葉
前年比	106%	97%	101%	-0.2葉

令和7年5～6月気象経過(大曲アメダス)



今月の栽培技術留意点

生育診断

稲作の基本です。品種、田植え日、ほ場ごとに生育が違いますので自身の稲がどのように生長しているか確認します。

雑草対策は斑点米対策

雑草があるほ場にはカメムシが多く潜んでいます。徹底除草で密度を減らし、薬剤防除で対策をします。

穂肥判断

高温の場合、一発肥料でも肥料切れを起こしてしまう場合があります。生育診断を元にして、倒伏に警戒をしながら、高温登熟を乗り切れる体力を持たせます。

高温対策

天気予報を確認しながら、肥培管理と水管理を。地域で協力して用水を使います。



NOSAI から
農業者の経営努力で避けられない収入減少も加入で一安心!

収入保険

例えば…



自然災害で減収



取引先の倒産



市場価格が下落



病気で収穫不能

※詳しくはNOSAI秋田 仙北支所まで

令和8年新規加入受付中

TEL.0187-66-9113



このページは秋田県農業共済組合との共同発行です。

R7農作物病害虫発生予察情報
第3号(7月予報)より抜粋

害虫名	発生時期	発生量(予報)
斑点米カメムシ類(第2世代)	やや早い	やや少ない
アカスジカスミカメ	やや早い	やや少ない
アカヒゲホソミドリカスミカメ	やや早い	やや少ない



成虫で4.6～6mm。背側中央部に紅色の条がある。ノビエ、ホタルイ等カヤツリグサ科雑草の穂に産卵する。稲にはほとんど産卵しない。飛翔性あり。

斑点米カメムシ類に
注意を

秋田県病害虫防除所が、6月24日に発表した令和7年度農作物病害虫発生予察情報第3号によると、斑点米カメムシ類(第2世代)の発生は前年よりやや少ないと発表されています。

元々のカメムシの発生量、雑草の残草が多いと、出穂後に吸汁被害を発生させるカメムシが多くあります。斑点米が多すぎると高性能な色彩選別機でも1回で取り除ききれず、数回実施することで品質低下となつてしまいます。

耕種的防除(畦畔草刈り等)と薬剤防除を組み合わせて①カメムシ発生密度を減らす、②適期に薬剤防除、③場合によって追加防除で斑点米減少、歩留まりアップを狙いましょう。ノビエやホタルイ等カヤツリグサ科雑草が多いと、斑点米カメムシ類をほ場内に誘引する原因となります。雑草が残っているほ場は後期除草剤で徹底除草をしてください。

防除概要

- ① 出穂期10日後頃に薬剤防除(1回目)を行います。
 - ② 薬剤防除(1回目)後5日以内に畦畔や農道の草刈りを実施し、カメムシの増殖源となる雑草を除去します。
 - ③ その後、収穫2週間前まで草刈りは禁止です。
 - ④ 薬剤防除(2回目)を実施する場合は、出穂期24日後頃とします。
 - ⑤ 法面や休耕田などで薬剤防除をしない雑草地は、出穂10日前までに草刈りを実施し、その後、収穫2週間前までは草刈りを行いません。
- ※通常の防除は出穂期10日後頃の1回散布を基本とします。ただし、現時点では斑点米カメムシ類の発生は「やや少ない」

水田周辺の草刈り時期

	6月		7月		8月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
農道 畦畔 法面休耕田等	草刈り期間		おぼこ一斉草刈りデー7/17～20 出穂10～15日前までに草刈りを終わらせる。		カメムシ防除まで草刈り禁止
	8月		9月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	
本田除草	スタークル剤散布 1回目防除 出穂期10日後	エクシード剤 キラップ剤散布 2回目防除 出穂期24日後頃			
農道畦畔	出穂期10日後頃のスタークル剤散布後に草刈りを！ (アカスジカスミカメの増殖源を消去)	草刈り	収穫期2週間前	草刈り	収穫期
法 面 休耕田等		草刈り禁止	収穫期2週間前	草刈り	収穫期

予報ではありませんが、今後の発生予察情報に留意しながら必要に応じて追加防除を検討します。

斑点米カメムシ類
防除薬剤

ドリフト(飛散)に注意して使用しましょう。

散布時期	薬剤名	希釈倍率/散布量(10a当たり)	適正使用基準	
			使用時期	使用回数
出穂期10日後頃	スタークル粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	3回以内
	スタークル液剤10	1,000倍/60～150ℓ		
追加防除 出穂期24日後頃	エクシード粉剤DL	3kg	収穫14日前まで	2回以内
	エクシードフロアブル	2,000倍/60～150ℓ		
	キラップ粉剤DL	3kg		
	キラップフロアブル	2,000倍/150ℓ		

